

子どもの発達の特徴 (0 歳から 5 歳) に関する学習資料
—「生理的機能」「全身運動」「手指の操作」「言語」「社会性」「心や知能」
の観点から—

佐伯 岳春

福山平成大学
(福祉健康学部こども学科)

E-mail : sae-take@heisei-u.ac.jp

【要旨】

厚生労働省が実施した調査研究の結果や授業内のデータなどから、保育者養成課程において、保育実習前に学生が子どもへの理解を深め、子どもの年齢に応じた対応を身につけていくことに、多くの養成機関が難しい状況であることが分かった。

その為、保育者養成課程の学生に対して、年齢ごとの子どもの発達の特徴などを端的にまとめた資料を作成する必要があると考えた。そこで、学生が理解しやすいように、子どもの姿を「生理的機能」「全身運動」「手指の操作」「言語」「社会性」「心や知能」の6つの観点に分け整理した資料を作成した。

キーワード：保育者養成、子どもの発達、年齢ごとの特徴

I. はじめに

本資料は、「保育内容・指導法（表現）」の授業を担当するにあたり、2023年度から使用書(教科書)として、『コンパス 保育内容表現』編著者 島田由紀子、駒久美子(建帛社)¹⁾を導入するため、授業内容の見直しに伴い作成した。

筆者は、保育内容・指導法(表現)を担当しているが、特定の教科書を使用したことがなく、様々な文献や自身の実践の内容等、また、学生自身が描画や製作することによって子どもへのかかわり方を考察することなどを構成して学生への授業内容としていた。

今回改めて、教科書を導入した理由は、保育に関する授業科目の担当が増えたことから、これまで、自身で作成していた内容の整理と客観的な視点からまとめられた教科書を使用することで、授業内容を見直し、学生が授業(学修)の到達目標を達成できるよう考慮した。

II. 資料作成の所在

厚生労働省(2017)が実施している子ども・子育て支援推進調査研究事業に「保育実習の効果的な実施方法に関する調査研究」がある。その調査研究では、実習の学びについて、保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲそれぞれにおける、実習前と実習後の学生の意識の変化や学びの深まりの過程などを質問紙調査から捉え、効果的な保育実習の実施方法を探ることを目的として、「実習態度」「園・施設の役割・子ども理解」「保育内容・環境」「保護者支援」「保育計画・記録」「保育士役割」の大項目に分け、実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを終了した専門学校生、短大生、大学生、1092名にアンケート調査をしている。その大項目の一つである「園・施設の役割・子どもの理解に関する項目」では、園・施設が担っている役割や機能を理解しているか、という質問や、子どもの特徴や興味・関心、発達過程を理解し、それに対する援助ができるかという7つの質問があった。その回答に関して、これらの項目は、多くの学生が保育実習Ⅱ・Ⅲの開始前には身についたと認識していることが示唆されている。他方、一人ひとりの子どもの発達過程を理解し、子どもの発達状態に応じた援助やかかわりができる、といった発達理解や発達に応じた援助に関する項目は、保育実習Ⅱ・Ⅲにおいて身についたという回答が3割を超え、保育実習Ⅰの経験や学内での学びを踏まえて身についたと捉えている学生が相対的に多い²⁾ことが推測される。この質問と回答から、多くの保育者養成機関において、実習を積み重ねることで

子どもへの理解が深くなっている様子が分かった。

次に「保育内容・環境に関する項目」に関しては、8つの質問が用意され、回答されている。学生への質問として、園・施設の計画の内容や、子どもの発達過程に応じた保育の内容、保育士が構成している保育環境の意図を理解できた時期について聞き、「実習が始まるまでに理解できた」と回答した学生は10%以下であり、机上の学びよりも実際の実習を通してこれらの内容を学んでいる³⁾という結果が出ている。この結果から分かることは、どの保育者養成機関においても、実習までに、子どもの発達過程やそれに対する保育内容について、少数の学生にしか理解を深めていくことができず、多くの学生へ理解を深めていくことが困難な様子が伺える。実習前に子どもと関わる時間を増やすなど、子ども理解を深めていくことに、どの保育者養成機関も難しい状況であることが分かった。

実習を積み重ねることで、子どもへの理解が深くなってくるということや、実習前に授業を通して子どもと実際に関わる時間を増加することなど、学生の子どもの理解を深めていくことの難しさに関しては、保育者養成課程の授業を担当するものとして共感を覚えた。

その内容を示す根拠としては、保育実習ⅠA終了後、学生が振り返りをするなかで「保育実習ⅠAを終えて、実習前にもっと学んでおくべきだったと思うこと」を質問した結果、学生からの回答としては、「(実習で)担当の対象年齢の子どもの発達段階」「各年齢の発達過程について」「発達段階にあった援助方法」「月齢差のある子どもに適切な保育」など、年齢ごとに子どもがどのように成長するのかをもっと深く理解しておくべきだったという回答が多く、約半数の学生が、子どもの発達過程について理解を深めたいということと、年齢に応じてどのように関わるかについてもっと学んでおくべきだったと言及している(〔付記〕)。

III. 資料作成の目的

厚生労働省が実施した調査研究の結果や担当授業の示すデータなどから、保育者養成課程において、保育実習前に学生が子どもへの理解を深め、子どもの年齢に応じた対応を身につけていくことに、多くの養成機関が難しい状況であることが分かった。

学生が子どもの発達過程を理解することや、年齢に適した子どものかかわりを身に付けていくには、実際に子どもと関わる機会を創出していくことや、授業で、動

画を鑑賞するなど多様な授業を展開することが必要だと考えられる。しかし、まずは、子どもが年齢ごとにどのように成長するのか、その子どもの発達について、端的に把握することが必要ではないだろうか。この課題を改善する為に「保育内容・指導法(表現)」で、新たに導入する教科書に合わせ、子ども理解とかかわりについて見直し、授業内容を整理する必要性が発生した。その為、教科書の内容に沿う形で、年齢ごとの子どもの発達の特徴などを端的にまとめた資料を作成することを目的とした。また、資料を作成することで、「保育内容・指導法(表現)」の到達目標である「子どもの表現に関わる発達過程について理解し、具体的な保育を構想し、かかわりを想定した実践ができる。」を達成できるよう寄与したいと考えている。

IV. 資料作成の方法

「保育内容・指導法(表現)」の教科書は『コンパス保育内容表現』を使用するため教科書の章で、分けられている年齢ごと(0・1歳児、2歳児、3・4歳児、5歳児)に作成する。

また、学生が理解しやすいように、参考文献をもとに子どもの姿を「生理的機能」「全身運動」「手指の操作」「言語」「社会性」「心や知能」の6つの観点に分け整理する^{4) 5)}。

作成した資料として、本稿では年齢と一部月齢の区分に分けて整理する。

V. 資料

1. 0・1歳児

(1) 0歳1か月～3か月頃

3か月頃の体の大きさの目安 身長60cm、体重6kg

①「生理的機能」

- ・原始反射(モロー反射、把握反射、口唇探索反射、吸てつ反射など)が活発である。

②「全身運動」

- ・おおむげが左右非対称な姿勢から、左右対称な姿勢になる。
- ・首が座り始める。

③「手指の操作」

- ・物を持たせると5秒程度持っている。次第に持っているものを取り上げようとすると少し抵抗する。
- ・目と手、手と口の協応が始まる。3か月頃

④「言語」

- ・「アー、クー」など柔らかい声を出す(クーイング)。2か月頃から
- ・母音の発声が見られる。3か月頃

⑤「社会性」

- ・まどろみ時などに微笑みが生じる(新生児微笑)。
- ・人と目を合わせられるようになる。1か月頃から
- ・抱かれると安心した表情を見せる。2か月頃から
- ・大人があやすと微笑む(社会的微笑)3か月頃から
- ・動くものを追視する。3か月頃から

⑥「心や知能」

- ・生後間もなくは、他者の表情などを無意図的にまねる原初模倣が見られる。
- ・母親の声とそうでない人の声を聞き分けられる。

(2) 0歳4か月～6か月

6か月ごろの体の大きさの目安 身長67cm、体重8kg

①「生理的機能」

- ・(立ち直り反応)が見られ始める。4～5か月頃
- ・原始反射のほとんどが消失する。6か月頃

②「全身運動」

- ・手と手、足と足をふれ合わせる。4か月頃
- ・手や足をつかんだり、つかんだ足を口に入れたりする。5か月頃
- ・うつぶせでは、手のひらで支える。5か月頃
- ・寝返り・旋回をする。6か月頃

③「手指の操作」

- ・持ったものを口に入れたり、振ったりする。4か月頃
- ・自発的に手を伸ばしてつかむ(リーチング)5か月頃
- ・手指がもみじ状に開く。5か月頃
- ・両手把握を媒介にした持ちかえをする。6か月頃

④「言語」

- ・母音の発声が見られる。3か月頃
- ・過渡期の喃語を話す。5か月頃

⑤「社会性」

- ・見慣れない人をじっと見る。5か月頃から
- ・人に向かって働きかけるようになる。「いないいないばぁ」を楽しむ始める。6か月頃から

⑥「心や知能」

- ・自分の手を見つめる。(ハンドリガード)。4か月頃から
- ・音のする方に振り向く(音源定位)。

(3) 0歳7か月～9か月

9か月頃の体の大きさの目安 身長70cm、体重8.5kg

①「生理的機能」

- ・母体免疫から自己免疫に切り替わる。
- ・乳歯が生え始める。

②「全身運動」

- ・ずり這いでの移動が始まる。7～8か月頃
- ・お座りができ始める。7～8か月頃
- ・四つ這いで移動する。9か月頃
- ・つかまり立ちをし、伝い歩きを始める。9か月頃

③「手指の操作」

- ・手に持ったものを自ら離すことは難しい。
7～8か月頃
- ・左右の手にそれぞれ物を持ち、自分から離すことができる。9か月頃
- ・「散らかす」操作が盛ん。9か月頃

④「言語」

- ・子音と母音の構造を含む基準喃語が出現する。8か月頃

⑤「社会性」

- ・ボールの転がし合いなどのやりとり遊びが始まる。9か月頃
- ・バイバイの仕草をする9か月頃
- ・知らない人に対して背を向けたり、振り返ってみたりする。9か月頃

⑥「心や知能」

- ・視界からモノが消えても、それが消滅したものでないことが分かり始める。
- ・手段と目的がはっきりと分化し、洞察行動が見られる。

(4) 0歳10か月～12か月

12か月ごろの体の大きさの目安 身長75cm、体重9kg

①「生理的機能」

- ・より高次の大脳系の成熟が進み、バランスをとる力、手指の操作における調整の力がついてくる。
9か月頃から

②「全身運動」

- ・四つ這い→お座り→つかまり立ち→お座りなど姿勢の変換が自由にできる。10か月頃から
- ・一人で立つ。11か月頃から

③「手指の操作」

- ・器に物を入れようとするなど「内に向けた調整」が見られる。10か月頃

- ・親指と人差し指で斜め上から小さい物をつかむ。

10か月頃

- ・左右交互に持った物をのせる、入れる、くっつける、相手に渡すといったことができる。11か月頃

④「言語」

- ・いくつかの単語の意味を認識することができる。
10か月頃

⑤「社会性」

- ・「ちょうだい」に対して渡そうとする（物を媒介したコミュニケーション）。10か月頃

⑥「心や知能」

- ・得意、照れる、可愛がるといった感情を示す。
11か月頃から

(5) 1歳1か月～6か月

1歳6か月ごろの体の大きさの目安 80cm、10kg

①「生理的機能」

- ・脳重量が出生時の3倍になるとともに、内部の構造も成人の脳に似てくる。1歳3か月頃から2歳にかけて

②「全身運動」

- ・歩行が始まる。
- ・くい打ち、ポップ遊びなどの運動遊びができる。

③「手指の操作」

- ・なぐり描きが始まる。
- ・積み木が少しずつ積めるようになる。
- ・スプーンやコップで食べ物や砂などをすくったり入れたりする。

④「言語」

- ・一語文が現れる。

⑤「社会性」

- ・他の子どもと隣同士で別々に遊ぶ並行遊びが始まる。

⑥「心や知能」

- ・指差しができる。
- ・家族や人形、ぬいぐるみなどに愛情を持つ。
- ・どう行動すれば、物事はどうなるかを調べるようになる（意図的な調節）。

(6) 1歳7か月～12か月

①「生理的機能」

- ・上下左右の奥歯（第一乳臼歯）が生え、全部で12～16本になる。1歳3か月頃から2歳にかけて

②「全身運動」

- ・目的に合わせて体を方向転換する。

- ・両足跳びや段差から飛び降りに挑戦する。
- ・走る。
- ③「手指の操作」
 - ・ぐるぐると丸(円錯画)を描く。
 - ・積み木を長く並べ、まっすぐになるよう調整するようになる。
- ④「言語」
 - ・二語文が現れる。
 - ・約 100 語の語彙を獲得する。
 - ・「あれ」などの指示代名詞が使われ始める。
- ⑤「社会性」
 - ・人の注意を引くために引っ張るなど自分から働きかける。
 - ・自分の所有物を「○○ちゃんの」と主張する。
- ⑥「心や知能」
 - ・鏡に映った自分と他人を見分ける。
 - ・名前を呼ばれると手を挙げる。

2. 2歳

2歳ごろの体の大きさの目安 身長 85cm、体重 11kg

- ①「生理的機能」
 - ・乳歯は 20 本生えそろふ
 - ・心臓、肺、胃、腸などの内臓組織や機能が急速に成熟する。
- ②「全身運動」
 - ・「速いー遅い」「高いー低い」などの動きを調節する。
 - ・開脚、背伸び、両手を上げる、片足を上げるなどの姿勢が可能になる。
 - ・左右の足を交互に出して階段を登る。
- ③「手指の操作」
 - ・閉じた丸を描くようになる。
 - ・粘土などを指先に力を入れて形を変える。
 - ・Vサインをする。
 - ・シールをはがす。
 - ・紙を折る。
 - ・積み木は、並べる、積むという異なる操作を組み合わせる。1つの物を構成する。
- ④「言語」
 - ・2歳時点で約 100 語を話し、およそ 500 語理解している。
 - ・二語文の出現とともに 2歳半ぐらいまでにはほぼすべての品詞がそろふ。
 - ・自分の名前が言える。

- ⑤「社会性」
 - ・一人遊びまたは、他児の遊びを少し離れて見ている傍観的行動が多く見られる。
 - ・保育者を仲立ちとして、ごっこ遊びを楽しむようになる。
- ⑥「心や知能」
 - ・大人の手を借りずに何でも自分でやりたがる。
 - ・自分の意志や思いを主張することが中心で抑えることが難しい。

3. 3~4歳

4歳ごろの体の大きさの目安 身長 100cm、体重 16kg

- ①「生理的機能」
 - ・脳重量は成人の約 80%に達する。3歳頃
 - ・利き手が決まってくる。
 - ・視力は 1.0 前後になり遠近の区別が付き聴力は青年期と同レベルに達し、匂いや味の違いがこれまで以上に分化する。
- ②「全身運動」
 - ・ケンケン、3輪車をこぐなど「～しながら…する」活動ができ始める。
 - ・雑巾がけ、走りながら縄跳びするなど「～しながら…する」活動が可能になる
- ③「手指の操作」
 - ・「頭足人」をかく。3歳頃
 - ・片手で紙を動かしながらハサミで形を切り抜くことに挑戦し始める。
 - ・人物画で胴体を表現する。
- ④「言語」
 - ・約 800 ~ 1000 語の語彙を獲得し、日常会話において経験したことが伝えられる。3歳頃
 - ・友達の名前が言える。3歳頃
 - ・話し言葉がほぼ完成し話すことへの興味が高まる(多弁期)。4歳頃
 - ・言葉がコミュニケーションの道具だけでなく思考の道具としても機能し始める(内言)。4歳頃
- ⑤「社会性」
 - ・同年齢の友達と遊ぶことが多くなる。3歳頃
 - ・ごっこ遊びが盛んになる。3歳頃
 - ・友達のそばで同じようなおもちゃで遊ぶが互いに影響されない並行遊びが見られる。3歳頃
 - ・数人のグループで遊びを展開し始める。
 - ・遊びの中で会話ややりとりはあるが、役割分担やリー

ダー的な存在は認められず、みんなが同じような行動をする（連合遊び）。4 歳頃

⑥「心や知能」

- ・大きい—小さい 多い—少ない 長い—短いなど、対比的認識ができるようになる。3 歳頃
- ・虚構の世界と現実の世界がまじりあっている。3 歳頃
- ・他者の考えや気持ちを推測できる。4 歳頃
- ・生活の中で簡単な約束やルールが理解できる。4 歳頃

4. 5 歳

5 歳ごろの体の大きさの目安 身長 108cm、体重 18kg

①「生理的機能」

- ・6 歳頃になると 6 頭身になる。
- ・6 歳頃になると永久歯が生え始める。

②「全身運動」

- ・「踏切、空中での制御、着地」など 3 個ワンセットの活動に挑戦し始める。
- ・幅跳びは 1m 程度、垂直跳びは 20cm 近く達するようになる。

③「手指の操作」

- ・横向きの人物画を表現し始める。
- ・道順をあらかじめイメージして描く。

④「言語」

- ・幼児語が少なくなる。
- ・相手の話を聞いて適切に回答できる。
- ・ひらがなが読めるようになる。
- ・助数詞（「いっぴき、にひき」等）が獲得される。

⑤「社会性」

- ・共通の目的をもって集団で遊ぶことが多くなる。
- ・仲間関係が分化され、遊びの中で役割分業ができ機能的に結びつく。
- ・遊びの中で起こったいざこざを自分たちで解決できる。

⑥「心や知能」

- ・5 歳半頃から虚構の世界と現実の世界を理解できるようになる。

VI. まとめ

保育者養成課程においては、実際に子どもと学生が関わる機会を創出するのが難しく、教員の間で、実習までに学生が子どもの姿を想像させるのが難しいということが話題に上がることが多い。その為、本稿では、学生が子どもの姿を理解しやすいよう子どもの年齢ごとによる

発達の特徴をまとめた。子どもの年齢ごとによる発達の特徴は、参考にした文献によって内容が相違する部分もあり、自身が実際に見聞きした内容や子どもと関わってきた経験などの事実を鑑み取捨選択の判断をした。

この資料について、学生に周知していきたい内容として、あくまで子どもの発達の特徴の一つの例であり、目安として参考にしてほしいということを説明したい。

また「発達」に関して、平井（2013）は、人生のあらゆる時期には、その時期固有の発達の姿があり、その時期にふさわしい生活を繰り広げ、その時期として充実していることが大事であることを「発達」は意味している。と述べ、乳幼児期の発達過程として重視すべき「個別性」「順序性」「相互性」「連続性」があることを言及している。発達の個別性として、子ども一人ひとりが見せる発達の様相や足取りはさまざまであること。発達の順序性として、運動面では、頭部から脚部へ、また、中心部から抹消部へ、そして、粗大運動から目的に合わせた微細で正確な運動へという順序性や方向性がある。精神面では、単なる興奮から分化した豊かな情動へという「未分化から分化・統合へ」という一定の発達の流れがある。発達の相互性は、身体的形態や生理機能運動面や情緒面の発達、人との関わりの発達など、様々な側面が相互に関連し合って総合的に成し遂げられていく。発達の連続性として、発達には、外見的には質的な変化が突然起こったように見られる面があるが、その変化のために必要な経験や学習が潜在的に準備されていく連続した過程があり、子どもは長期的視野に立って連続的に発達を捉えていく必要があることを示唆している⁶⁾。

上記に示した発達に関する内容を含め、この資料の活用際には、事例や動画の資料なども活用し、できるだけ端的にまとめ、学生の子どもの理解に寄与していきたいと考えている。

引用・参考文献

- 1) 島田由紀子・駒久美子 編著（2019）『コンパス保育内容表現』建帛社
- 2) 厚生労働省（2017）「子ども・子育て支援推進調査研究事業」『保育実習の効果的な実施方法に関する調査研究』pp.9 - 10
- 3) 同上 pp.10 - 11
- 4) 河原紀子 監修・執筆（2011）『0 歳～6 歳子どもの発達と保育の本』（株）学研マーケティング

子どもの発達の特徴(0歳から5歳)に関する学習資料:「生理的機能」「全身運動」「手指の操作」「言語」「社会性」「心や知能」の観点から

5) 山野てるひ・岡林典子・鷹木朗 編著 (2013) 『「表現」エクササイズ&なるほど基礎知識』 明治図書出版株式会社 pp.32 - 33

6) 同上 pp.30 - 31

〔付記〕

「保育実習 1 A 事前事後指導」(2023) 保育実習 1 A 終了後の振り返りレポートより

Learning Materials Regarding Characteristics of Child Development

(0 to 5 years old)

—From the Viewpoints of “Physiological Function,” “Whole Body Exercise,”
“Operation of the finger,” “Language,” “Social Nature,” and “Heart and Intelligence.”—

Takeharu Saeki

Department of Childhood Education,
Faculty of Welfare and Health Science,
Fukuyama Heisei University

E-mail : sae-take@heisei-u.ac.jp

Abstract

Through the results of research conducted by the Ministry of Health, Labour and Welfare and data gathered in classes, it was found that students deepened their understanding of a child before childcare training in the childminder training course. In teaching methods based on the age of the child, it was revealed that most training institutes faced a difficult time.

Therefore, for students in the childminder training course, I thought there was a need to create a document that clearly establishes the characteristics of a child's development at every age. I prepared a document that divided a child's development into six points: "Physiological Function," "Whole Body Exercise," "Operation of the finger," "Language", "Social Nature," "Heart and Intelligence" and arranged it such that it is easy to understand for a student.

KEYWORD: Childcare worker training, Child development, Characteristics by age